

CHARTERED 2009

6

# KUMAMOTO NISHI Y'S MEN'S CLUB 熊本にしワイズメンズクラブ

2026年6月2日発行 No.204



2026  
JUNE

国際会長主題	"Faith, Love, Action"	「信念、愛、行動」	エドワード・オン(シンガポール)
アジア会長主題	"Act now with faith and love!"	「信念と愛を持って行動しよう！」	田上正 (熊本むさし)
西日本区理事主題	"Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!"	「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!」	中井信一 (奈良)
九州部部长主題	"Let's serve the community while having fun and interacting"	「楽しく交流しながら地域のために奉仕しよう」	本田節子 (熊本N北°リット)

## 熊本にしクラブ会長主題 “変化へのチャレンジ” ～ The challenge to change ～ 会長 東 菜保子

### 6月3クラブ合同引継ぎ例会

📅 日時：2026年6月2日（火）19:00～  
📍 会場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ  
🎯 テーマ：「1年の振り返り  
～3クラブ合同引継ぎ例会～」  
司会：中西 賢一(ワイズ(熊本にしクラブ))

1. 開会宣言・点鐘 東 菜保子会長(熊本にしクラブ)
2. ワイズソング「いざ立て」
3. 3クラブ会長挨拶
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 食前感謝 吉田しのぶ 担当主事
6. 諸報告
7. 一年の振り返り(3クラブ活動報告)  
熊本ひがしクラブ/阿蘇クラブ/熊本にしクラブ
8. 会長引継ぎ
9. ワイズソング「なごりはつきねど」
10. 閉会点鐘 松村 浩市 会長(阿蘇クラブ)

【ハッピーバースデー】  
6月19日 松村 リザ 6月28日 木本 博章

【アニバーサリー】  
6月14日 大西 一史・裕美  
6月17日 水元 裕二・留美

### 今月の聖句

吉田 しのぶ

思い煩いは、何もかも神にお任せなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていく下さるからです。

ペトロの手紙（一） 5章7節

国語辞典に「思い煩う」は「いろいろと考えて苦しむ」とありました。

イエスは空の鳥、野の花を例にあげて「思い悩むな」と教えています。つまり、生きていくためにどうしようか、こうしようかと考えて苦しむなということです。現代社会における人間の状況の一つの特徴は「不安」だと思えます。それは「いろいろと考えて苦しむ」ことが多いからです。その苦しみの源を探っていくと「不確か」につながり、そして「不信」ということにつながってきます。

イエスの言葉は対症療法的に「思い悩むな」と語られているのではなく、人間としての真の拠り所である神への信頼を呼び覚ますものとなっているのです。思い悩まなくても良いのは「神が、あなたの方のことを心に掛けて下さるからです。」とペトロが言うとおりです。わたしたちは、自分の不確かさを通して神の確かさに与る、その道へイエス・キリストによって招かれています。罪がもたらした生の根元的不安から主は十字架によって救い、確かさと信頼に生きる者へと変えて下さったのです。ですからペトロは言うのです。「思い煩いは、何もかも神にお任せなさい」と。神があなたのことを心に掛けて下さるのですから。

(日本基督教団小金井緑町教会 日々の聖句より抜粋)

### いざ立て

1. いざ立て心あつくし 手を挙げ誓いあらたに  
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン  
絶えせずめあて望み この身を捧げ尽くさん
2. 歌えば心ひとつに とものがきひろがりゆきて  
遠きも近きも皆 捧げて立つやワイズメン  
栄えと誉れ豊か まことは胸にあふれん

### なごりはつきねど

なごりはつきねど つどいははてま  
今日ひとひのさち 静かに思う

### 5月例会出席状況

在籍会員数	19名	例会出席率	50.0%
広義会員数	1名	メイキャップ	なし
例会出席数	9名	メネット	0名
第1例会	9名	コメント	0名
第2例会	9名	ゲスト・ビジター	11名

## 会長通信

この一年を振り返ると、あっという間にと言いたいのですが、キックオフ例会がはるか昔のように感じる今日この頃。そう感じるのは、中味の濃い1年だったからかなと思います。

その中心にあったのは、4つのテーマです。

### 1. アジア太平洋地域大会

アジア大会に参加したメンバーの声を振り返ると、共通していたのは「外に出ると、自分たちのクラブがよく見える」という実感でした。

- ・ 「あ、私たちって意外とやれてるじゃん」
- ・ 「他クラブの工夫を見て、帰ったら真似したくなった」
- ・ 「国が違っても“同じ気持ち”で活動してる仲間がいるのが嬉しかった」
- ・ 「刺激が強すぎて、帰りの飛行機で急にまじめになる現象が起きた」

そんな“いい意味でのカルチャーショック”が、メンバーの表情に少し変化を与えてくれました。アジア大会は、クラブの空気をふわっと前向きにしてくれた、今年の“追い風イベント”だったと思っています。



熊本にしクラブ17代目会長  
東 菜保子 with くまモン

### 2. 合同例会 — “つながる”ことの価値を再確認した時間 —

合同例会では、クラブの枠を越えて語り合うことで、「私たちだけでは見えない視点」がたくさん生まれました。普段は話す機会の少ないメンバー同士が笑い合い、他クラブの取り組みを聞いて刺激を受け、“クラブって、こうやって育っていくんだな”と感じた場でもありました。

### 3. 学院・幼稚園とのつながり— “地域と未来”を結ぶ橋として —

学院や幼稚園との関わりは、今年の大きな成果のひとつです。学生たちのまっすぐな視線や幼稚園児の素直な表情に触れるたび、「私たちの活動は、未来に向けて種をまいているんだ」そんな実感が湧いてきました。若い世代と関わることで、クラブの価値が“過去から未来へ”と伸びていく。その流れをつくれたことは、今年の誇りです。

### 4. 変化へのチャレンジ— “慣れた形”を一度手放してみる勇気 —

私自身、仕事上の立場や考え方に変化があり、まさに新しいことへ挑戦している最中でした。そんな中で迎えた今年も、クラブの“当たり前”を一度見直す一年でもありました。新しいやり方を試したり、説明の仕方を変えてみたり、「どうすれば伝わるか」を大切にしながら進めてきました。会長主題でも「変化」を柱に掲げ、“たとえ失敗しても、それが次の変化のきっかけになればいい”そんな思いを込めて一年を過ごしました。この一年には、プラスの面もあれば、もちろんマイナスや戸惑いもあったと思います。でも、マイナスや失敗があるからこそ、次の成長や進化につながる。そう信じられる一年でもありました。

ただの雑談のなかだったと記憶しています。次期会長の話が出たとき、木本さんの口から出た一言

「困るのなら、俺が引き受けるよ」

この一言に、どれだけ救われたか。あの瞬間、木本さんは忘れたいかもだけど、私は絶対に忘れません。あの言葉は、私の会長期のハイライトのひとつです。そして、クラブとしてCS事業で何かしたいと考えてくれている木本会長期。できる範囲で、無理せず、ワチャワチャいきましょう。

完璧じゃなくていいし、型にはまらなくていいし、むしろちょっとくらい脱線したほうが、クラブらしい気がします。

そして、レジェンド佐藤さん。

今期は、書記とプリテン委員長としてフル回転していただきました。後半の数か月（今回も含めて）、プリテンの締切ギリギリ、もしくは締切後に提出する私に対して、「コーヒー飲みながらのんびり仕上げていきますよ〜」と、いつも温かく受け止めてくれました。

完璧な議事録、そしてメンバーの個性を大切にしながら作ってくれたプリテンのおかげで、各所への報告書も本当にスムーズに作成できました。6月例会での「書記&プリテン委員長から見た今期のにしクラブ&能登ツーリング裏話」も、密かに期待しています。

そして最後の能登ツーリングで、本物の“レジェンド”へと進化した佐藤さん。  
1年間、本当にありがとうございました。

◆ さいごに…

この一年、クラブは確実に前へ進みました。そこまで実感していないかもしれませんが、私は“着実に小さな変化が起きている”と信じています。

今期、会長として過ごした一年は、私にとって次への変化の第一歩になりました。みなさん、一年間、本当にありがとうございました。

**Thank you ♥**



**東会長、1年間お疲れ様でした。期  
初頭から、DBC・IBC交流、そして、  
学院生・リーダーとの交流、幼稚園  
児との交流。**

**交流・交流・交流と東会長の元、  
ワイズらしく、  
楽しい1年間でした！！**

熊本にしワイズメンズクラブ一団

# 西日本区国際・交流事業 復興支援能登ツーリング



中西 賢一  
国際・交流事業主任

5月の能登ツーリング。あの2日間を思い返すと、胸の奥がじんわり温くなる。旅は、熊本から大阪へ向かうフェリーの夜風から始まった。甲板に立つと、海の匂いと静かな波音が広がり、「いよいよ北陸へ向かうんだ」というワクワクが、身体の奥から湧き上がってきた。

大阪に着くと、レンタカーで金沢へ北上し、現地でバイクを調達。神戸組は新幹線とサンダーバードを乗り継ぎ、京都組は各地からバイクで集結。富山からは清水部長が車で、そして佐藤さんはスクーターで1,200kmの下道走破。“そこまでして来てくれる仲間がいる” その事実だけで、もう旅は成功していた。

能登に着いて、にしくラブメンバー最初に向かった千里浜なぎさドライブウェイ。砂浜の上をバイクで走るといふ非日常。海と空の境界が溶けるような景色の中、アクセルを開けるたびに胸が高鳴った。「こんな道が日本にあるのか」そう思うほどの爽快感で、旅のスイッチが一気に入った。



和倉温泉では、長旅の疲れを名湯が優しく包み込んでくれた。飲泉所で口にした湯の味は、自然の恵みそのもの。夜は所属を超えたバイク談義と笑い声が絶えず、気づけば夜更けまで、語り合っていた。“この仲間と走れて良かった” 心からそう思えた夜だった。少し飲みすぎて途中から寝ていたような気もするけれど…



翌朝、加賀屋の前に立つと、外観の美しさとは裏腹に、内部の深刻な被害で解体が決まっているという現実を知った。熊本地震を経験した者として胸が締めつけられ、静かに手を合わせ、復興を祈った。

能登島を走ると、青い海と空の下に、ブルーシートの屋根が点々と続いていた。美しい景色と震災の爪痕が同時に存在するその光景は、言葉では表せない重さがあった。それでも、走るたびに住民の方々が手を振ってくれ、「来てくれてありがとう」と声をかけてくれた。その笑顔に、こちらこそ胸が熱くなった。

志賀町の世界一長いベンチでは、町おこし活動家の方と偶然出会い、「来てくれるだけで嬉しいんです」と言われた。その一言で、“訪れることそのものが支援になる” その意味がはっきりと胸に刻まれた。



旅の締めくりは、内藤ワイズの奥様のご実家「まつ本」。震災の逆境の中でも、明るい笑顔で迎えてくださり、温かい定食を振る舞っていただいた。退店時に交わした固い握手は、「また必ず来ます、ありがとう」という無言の約束だった。

そして何より、2日間ずっと天気が味方してくれた。青空の下を走れたことは、旅の神様からのご褒美のようだった。

今回の能登ツーリングは、再会の喜び、震災の現実、人の温かさ、そして未来への約束が詰まった旅だった。企画して本当に良かった。参加してくれた仲間一人ひとりに、心からありがとうと言いたい。みんながいたから、この旅は“事業”ではなく“宝物”になった。

来年は、もっと多くの仲間とこの景色を共有したい。バイクでも車でも構わない。風を感じながら走る時間は、きっと人生の忘れられない1ページになる。

今回の能登ツーリングのおかげで、交流の楽しさを改めて再認識できた。

**国際・交流事業主任を受けて本当に良かった！！**

## 東 菜保子会長

今期の中西国際・交流事業主任の目玉企画「能登ツーリング」に、熊本にしクラブから応援団として4名が参加しました。

行きの新門司～大阪南港までは、にしクラブ4名で大宴会をしながら向かう予定でしたが、私の仕事の都合で出発が遅れ、私と中西さんは、佐藤さん・木本さんを乗せたフェリーが出港して15分後に港へ到着。そこから3時間遅れで新門司港を出発することに。翌朝、大阪南港で待ちぼうけの木本さんとうやく合流。



そこからレンタカーで金沢へ向かいましたが、工事規制などによる渋滞も多く、3時間の遅れを取り戻すことはできないまま金沢に到着。中西さんと木本さんは、そこからうやくバイクにまたがりツーリングへ。そして能登半島の入口で、約10時間一般道を走り続けた佐藤さんと合流しました。

にしクラブ4名で千里浜なぎさドライブウェイへ！2台の大型バイクと1台のビッグスクーターを追いかけてながら、普段なかなか走ることのない海岸線をドライブ。途中、10時間走り続けたとは思えない暴走を見せる佐藤さん。そして、少し古いですが「あぶない刑事」を彷彿とさせる、タカ&ユウジ……ではなく、賢一&博章の大人の余裕あふれる走り。

今回の能登ツーリングがなければ、一生行くことはなかっただろうなと思います。

私は父からの「バイクの免許は許さない」という「遺言」があったため、一度もバイクに乗ったことがありません。記念撮影のつもりで中西さんの後ろに乗せてもらったところ、そのまま発進!! これもまた、なかなかできない貴重な経験でした。欲を言えば、にしクラブのバナーを持って走りたかったです。



その後は宿に向かい、バイクメンズクラブの皆さんと合流しました。この後の話は、中西さん、木本さん、佐藤さんがきつと書いてくださると思うので、お任せします。

今期最後のイベントは、遅刻あり・暴走あり・発進サプライズありの、忘れたくても忘れられない思い出になりました。

佐藤 通彦

中西主任から、充実した原稿が届いていましたので、個人的な感想を。中西主任からはプリン原稿以外に、事業報告も作成されているので、是非皆さん確認されてみてください。

今回の能登ツーリング情報が流れた今年初めころ、目的地が能登半島と耳にし、その距離から「絶対に実現しない、目的地が変わる」と思っていました。しかし、いよいよ、本当に能登半島が目的地と決定された頃、どうするべきか・・・と。

個人的には、中西主任に対して、罪悪感（良い言葉が見つからなかった）というか、申し訳なさを感じていた。それは、2023年度、中西九州部部長期、私は、熊本にしクラブの会長という立場をいただいております、「中西九州部部長を盛り上げ、一緒に楽しむ」という気持ちでした。しかしながら、九州部会を終えて、直ぐに半年の緊急入院となってしまいました。

もちろん、クラブの方は、岩本ワイズを中心に、九州部とともに、充実した1年の活動を行っていただきましたが、個人的には完全に不完全燃焼。今回のツーリングは、そんな中西主任を中心とする企画。絶対に参加しようと心に決め、スケジュール調整。

そしてもう一つ、もちろん、私も大型二輪の免許は持っていますし、大型二輪に乗っていた期間も10年ぐらいはあるので、レンタルバイクでも良かったのですが、そもそも4輪も2輪も走ることが好き、話題作り、という観点から、愛車の原付2種スクーターでの1200km走破を決定しました。



下道の旅は、下道故の気付きもあります。



滋賀県大津市横木二丁目交差点。片道4車線に車線毎に信号がある。これを見て、どの方向に行けば良いかプチパニックに……



富山県になると、いっきに盾形信号ばかりに。後で、調べたら、雪の重みで信号が倒れないように、縦型信号ばかりになっているそうです。

大阪南港から熊本組と合流するまで、約330Km。走り続けること約10時間。合流できた時は、涙が出そうでしたが、それ以上にお尻が痛い。そして、夜、バイクメンズクラブの皆様と合流し、楽しい懇親会。

バイク歴40年近いですが、集大成的なツーリングとなりました。原付にも関わらず、快く仲間に入れていただいたバイクメンズクラブの皆様へ感謝し、私の方からは、中西主任の事業報告から参加者の紹介だけさせていただきます。

No.	氏名	所属クラブ	移動手段	備考
1	中西 賢一	熊本にし	バイク	熊本組 / 西日本区国際・交流事業主任 / 団長(金沢でレンタル)
2	木本 博章	熊本にし	バイク	熊本組(金沢でレンタル)
3	佐藤 通彦	熊本にし	バイク	熊本組 / スクーター下道走破
4	東 菜保子	熊本にし	車両(車)	熊本組 / サポート車両(大阪からレンタカー)
5	山田 滋己	神戸ポート	バイク	神戸組 / レンタルバイク活用(金沢でレンタル)
6	角谷 多喜治	京都ウエスト	バイク	京都組
7	塚本 勝己	京都ウエスト	バイク	京都組
8	山下 大輔	京都トップス	バイク	京都組
9	佐々木 健悟	京都トップス	バイク	京都組
10	奥村 賢三	京都ウイング	バイク	京都組
11	佐藤 昌利	京都ウイング	バイク	京都組
12	清水 淳	富山	車両(車)	富山 / 中部部長 / 2日目先導
13	森 たくま	ビジター	バイク	ビジター参加



## 集合写真のパネルは、清水中部部長から手作り提供いただきました。

今回は、中西主任を団長とするツーリングに参加して、まだまだ、どこまでも走って行けると実感しました。これからも、ワイズもバイクライフも、楽しんで行きたいと思えます。

ただ、中西主任の任務は、能登ツーリングが最後ではありません。奈良での西日本区大会での主任報告、熊本組として、しっかり応援に行きますよ。バイクメンズクラブの皆さんとも奈良でお会いできるのを楽しみにしています。

## 5月定例会報告

町田 宗一郎

5月12日、ひがし・阿蘇クラブとの合同例会が開催されました。

今回は東会長による地域奉仕・環境事業に関する卓話。常に笑顔で上品、かつ話し上手な東会長の語りに、会場は自然と引き込まれました。ワイズの仕組みについても、理解が深まる内容で、多くの気づきが得られました。

また途中、補足の岩本ワイズより、西日本区の運営はトップダウンではなくボトムアップ、各クラブの意見や行動が積み重なり、全体の方針や意思決定につながる仕組みであることを改めて認識しました。

その後のテーブルディスカッションでは、地域奉仕・環境事業を通じて来期に何ができるかについて、活発な意見交換が行われました。私自身、地域奉仕委員長のときにビブスを着て、ランニングしながら清掃活動やBBQを実施した経験を思い出しました。奉仕活動は継続の難しさゆえ、最初の一步を小さくして継続していくことが大事ではないかと、日々考えます。

元来、人は社会の中で生きる存在であるにもかかわらず、人間関係が希薄化してきています。ワイズ活動は希薄化したコミュニティの中で、重要な一端を担っていると、改めて感じた例会となりました。



## ヘキサゴンDBC交流

岩本 悟

5月14日（木）13時から、東京杉並区の杉並会館にて東京西クラブの50周年記念例会が開催されました。参加者は、ヘキサゴンDBCとしては代表で京都ウエストクラブの森田ワイズ、神戸西の加茂ワイズ、千葉ウエストは長尾・高田ワイズと私の5名が参加。遠くは十勝クラブの山下理事と山田ワイズ。総勢45名の参加でした。

本来は、今年の7月で満50年ですが7月1日を期して「東京西」「東京武蔵野多摩」「東京たんぽぽ」の3クラブが合併して「東京ワイドウエストクラブ」として生まれ変わります。

従ってまだ名前が残っている間に記念例会をとの事で開催されました。

会は、神谷会長の歓迎挨拶から森田代表、山下東日本区理事の祝辞と続き、藤井元国際会長の乾杯の発声で祝宴となりました。しばらく歓談後、50年の歩みや参加クラブ紹介で閉会となりましたが、その場で2次会。更には東京ひがしクラブのメンバー紹介で居酒屋の前の露店で3次会と楽しい交流と懇親を深めてワイズのすばらしさを実感しました。

その夜は、娘家族と家の近くの焼き鳥屋で4次会と飲んだくれて朝起きたら記憶が飛んでいました、素晴らしい仲間と家族に囲まれて幸せな東京でした。

DBCとして嬉しい事は、東京ワイドウエストクラブとなりメンバーも多く女性メンバーも多いので今後の交流が楽しみです。



フィリピン・セブ島地震&台風支援事業

松村 リザ

**Donation from**  
**Kumamoto nishi Y's Men's Club**  
**Aso Y's Men's Club**  
**Kumamoto Higashi Y's Men's Club**  
**Kyoto west Y's Men's Club**





 **ワイズメンズクラブ国際協会**  
**第29回 西日本区大会**

2026年 **6月13日** **土**

**なら100年会館**  
**ホテル日航奈良**

**6月12日** **金**

**前夜祭**  
**KOTOWA奈良公園 Premium View**

ホストクラブ:奈良クラブ  
サブホスト:和歌山クラブ、大阪サウスクラブ、大阪河内クラブ、  
大阪長野クラブ、大阪泉北クラブ、和歌山紀の川クラブ





ご協力有難うございました。後日、事業報告書を作成し配布します。

## 5月企画例会報告

日時：2026.5.26（火）19:30～  
 場所：熊本YMCA本館  
 出席者：岩本・亀浦・木本・中西・橋本・東・水元・吉田(し)・佐藤(記)  
 メンバー数：19名 / 出席者数：9名

### 【報告事項】

#### 1. 5月例会 次期九州部への準備例会 CS事業の視点から

日時：5月12日 19時開始  
 参加者：9名、ネット0名、Jネット0名、ビジター11名、  
 ゲスト0名、合計20名  
 会場：ANAクラウンプラザ 熊本ニュースカイ  
 ※東会長からの地域奉仕・環境事業に関する卓話、予定されていた時間ピッタリで、良くまとまっていた。  
 ※このような、ワイズに関する話は、ワイズ歴が浅いワイズをもっと積極的に集めて定期的に共有できる時間があれば良いと感じた。

#### 2. YMCAより 吉田 担当主事

※5/16 YMCAとワイズ交流会 22名参加（熊本にしクラブ 橋本副会長が参加）  
 ※5/29 熊本YMCA定時会員大会  
 ※6/6 熊本YMCA本館5周年記念防災まつり 人手が足りないので時間がある方は協力をお願いします。

※6/19～20 全国総主事会議

#### 3. 西日本区より 中西 国際・交流事業主任

#### 4. 九州部より 岩本 九州部会計

#### 5. その他

東京西ワイズメンズクラブ 50周年 岩本  
 ※歴史あるクラブらしい例会だった。3次会まで開催され、楽しい時間を過ごした。報告は、プリテン6月号に寄稿しているので確認いただきたい。  
 西日本区 国際・交流事業「能登ツリング」 中西、東、木本、佐藤  
 ※天気に恵まれ有意義な時間を過ごした。参加者全員、事故も無く帰着できたことが本当に良かった。  
 ※ワイズに入っていないけれど、能登まで足を伸ばすことは無かったと思う。ワイズメンバーだったから、実現できたイベントだったと実感した。

田上雄介ワイズの退会者について

※6月30日付退会で、会員異動報告を提出する。

### 【協議事項】

#### 1. 6月例会について 熊本ひがし、阿蘇、熊本にし 3クラブ合同

日時：6月2日 19時開始  
 会場：ANAクラウンプラザ 熊本ニュースカイ 24F  
 内容：引継ぎ例会  
 会費：3,700円  
 司会：中西ドライバー委員長  
 ※3クラブ会長から、1年の振り返り報告を行う。（熊本東・阿蘇 15分を予定）  
 ※次回から、例会充実を考慮し、企画例会までにドライバー委員会で例会プログラムを作り、企画例会で例会プログラム協議を行っていく。

#### 2. 7月 キックオフ例会について

日時：7月13日（月）19時開始  
 会場：ANAクラウンプラザ 熊本ニュースカイ  
 内容：3クラブ合同キックオフ例会  
 ※詳細は、次期ドライバー委員会で叩き台を検討

#### 3. 熊本YMCAと在熊ワイズメンズクラブの交流懇談会より

① 担当主事会員としての登録について  
 ② ①の場合の西日本区費9,000円の負担について  
 ※熊本にしクラブとしては、これまで同様、担当主事会員として登録を行っていく。区費負担については、いろいろと協議されたが、各クラブの決定方針を情報収集し、来月の企画例会にて決定する。

#### 4. 世界YMCA大会派遣費用の補助について

日時：2026年7月19日（日）～25日（土）  
 場所：カナダ トロント  
 職員2名の派遣予定  
 ※YMCAの事業サポートは行っていきたいという事を前提に様々話し合われた。  
 ※4年に1回、世界YMCA大会が行われるのなら、開催ギリギリで、派遣費用の圍場協力依頼をするのはどうなのか？  
 ※協力依頼文書の登録費部分全額を、ワイズから支援いただきたいという依頼はどうなのか？  
 ※協力依頼方法や事後の参加者報告方法等をもう少し考えてもらいたい。  
 ※これら意見をYMCAでも協議いただき、協議結果を教えてください。本日時点では、2口協力するという結論にし、YMCA側の協議結果を元に柔軟に対応する。

## 熊本YMCA学院通信

吉田 しのぶ

私たちが向き合っている若者たちの社会状況は、かつてないほど複雑化しています。デジタル社会を生きる現代の若者は、SNSによる比較や繋がりの希薄化に悩み、自己肯定感の低下や孤独という課題に直面しています。こうした変化の激しい時代、学校が果たすべき役割は知識の伝達に留まりません。学生一人ひとりが「社会に必要とされている」と実感でき、失敗を恐れず挑戦できる「心の安全基地」であることが、求められていると思います。

本校ではその実践として、先日行われた益城町ジョギングフェアに8名の学生をボランティア派遣しました。うち4名の留学生も地域の方々と共に汗を流し、大会を支えました。言葉の壁を越えた奉仕体験は、自信と国際感覚を養う貴重な機会となりました。こうした実体験こそが、学生たちの「社会の一員である」という自覚を育みます。学生たちが「奉仕の尊さ」を学ぶ機会を、今後も大切にしていきたいと考えております。

若者たちが、自分の足で力強く未来へ踏み出せるよう、私たちは情熱を持って伴走し続けます。



### 専門学校・熊本五福幼稚園とYMCAの行事

- 6月 6日 (土) YMCA本館 5周年記念 防災まつり (本館)
- 6月10日 (水) 学校運営委員会 (専門学校)
- 6月19日 (金) 高校先生対象学校説明会 (専門学校)
- 6月23日 (火) 学校関係者評価委員会 (専門学校)

### 編集後記

今期、最後のプリンを作成しようとパソコンの前に座ったらトラブル。Officeのライセンスが外れて、PowerPointが使えない……。古いライセンスが通らなかった為、無料の互換ソフトOpenOfficeや、無料のWeb版Office365等を試すが・・・簡単な文章を作るには全く問題無いが、プリンのような複雑なレイアウトを作ると、位置ズレを起こしたり、機能不足だったり。。

仕方が無いのであきらめて、Office365の1年契約サブスクリプションを購入。年間21300円。Officeは、仕事で使う事が多いし、経費にしていますよね?教えて東先生 (笑)

さて、今年1年プリン作りで大変お世話になりました。何より、原稿をしっかり作成してもらえ、非常に助かりました。皆さんにはお伝えしていませんでしたが、プリン発行前にプリン委員チェックを行っていただいております。特に町田由美子ワイズには、細かくチェックいただき、毎回アドバイスを多くいただいております。本当に有難うございました。

そして、印刷・製本は毎月、岩本ワイズに引き受けていただいております。木本次期会長から来期もプリン担当に指名いただきましたので、もう1年プリン作り頑張りたいと思います。引き続き、プリン定期発行できるように、ご協力よろしくお願い致します。

佐藤 通彦

### 今後の予定

- 6月 2日 (火) 6月例会
- 6月 6日 (土) リサイクルファンド
- 6月13日 (土) 西日本区大会 (奈良)
- 6月28日 (日) 台中エバーライフクラブ 社長交代式
- 7月 4日 (土) 九州部 第一回評議会、EMCシンポジウム
- 7月13日 (月) 7月キックオフ例会